

令和5年度

千葉県市民活動団体 マネジメント事業

—事業力強化をテーマとする講座 全5回—

令和5年度 千葉県市民活動団体マネジメント事業
事業力強化をテーマとする講座 全5回

主催：千葉県

参加費 無料

第1回

ICTを活用した 団体運営と事業例

～オンラインで活動が進化する～

講師  講師 奥 哲煥 さん
くろ てるあき

日時 2023年 **9月23日** (土)
10:00～12:00

企画・運営
一般社団法人鎌ヶ谷マネジメントラボ

令和5年度 千葉県市民活動団体マネジメント事業
事業力強化をテーマとする講座 全5回

主催：千葉県

参加費 無料

第2回

クラウドファンディングで 共感されやすい企画の立て方

～お金と共感を生み出す
クラウドファンディングの活用法～

講師  講師 阿部 剛 さん
あべ つよし

日時 2023年 **10月28日** (土)
10:00～12:00

令和5年度 千葉県市民活動団体マネジメント事業
事業力強化をテーマとする講座 全5回

主催：千葉県

参加費 無料

第4回

自信がもてる 企画の立て方

講師  講師 谷津 孝啓 さん
やづ たかひろ

日時 2023年 **12月9日** (土)
10:00～12:00

令和5年度 千葉県市民活動団体マネジメント事業
事業力強化をテーマとする講座 全5回

主催：千葉県

参加費 無料

第3回

助成金応募要項の 読み解き方と 応募申請書の 書き方のポイント

講師  講師 山田 泰久 さん
やまだ やすひさ

日時 2023年 **11月25日** (土)
10:00～12:00

令和5年度 千葉県市民活動団体マネジメント事業
事業力強化をテーマとする講座 全5回

主催：千葉県

参加費 無料

第5回

企画を 効果的に実行するための 戦略マップ作り

講師  講師 森 浩気 さん
もり こうき

日時 2024年 **1月28日** (日)
10:00～12:00

第1回 ICTを活用した団体運営と事業例 ～オンラインで活動が進化する～

2023年9月23日(土) 10:00~12:00 Zoom開催 受講者21名(見逃し視聴含む申込み88人)



講師：呉 哲煥（ご てつあき）さん

NPO法人CRファクトリー代表理事

「すべての人が居場所と仲間を持って心豊かに生きる社会」の実現を指名に、NPO・市民活動・サークル向けのマネジメント支援サービスを多数提供。セミナー・イベントの参加者は8,000名を超え、毎年多くの団体の個別運営相談にのっている。コミュニティ塾主宰。コミュニティキャピタル研究会共同代表。一般社団法人幸せなコミュニティとつながり実践研究所共同代表理事。血縁・地縁・社縁などコミュニティとつながりが希薄化した現代日本社会に対して、新しいコミュニティのあり方を研究し、挑戦を続けている。

【講座のねらい】

- ・ 市民活動に使えるオンラインツールとその活用方法を知る。
- ・ 市民活動における、対面とオンラインの使い分け方を学ぶ。
- ・ ICTツール導入へのハードルを下げ、団体運営や事業力強化へのモチベーションを高める。

【講座概要】

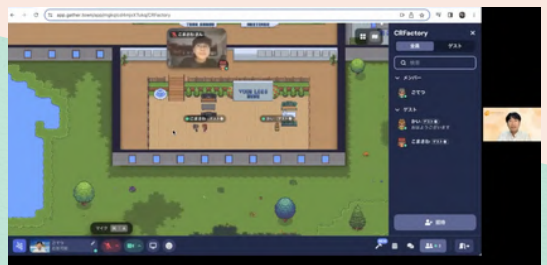
- ・ オンライン活用をすすめるために
- ・ ICTツールの紹介と活用例
- ・ オンラインとリアルの使い分け
- ・ アフターコロナの団体運営について

本講座では、市民活動に使えるICTツール（組織内コミュニケーション、情報発信、ファイル共有、オンライン会議やメタバース）の活用事例を紹介。受講者はICTツール活用の悩み・課題をグループワークで共有した。情報や知識の共有にはオンラインが効率的であり、理念共有や相互理解・関係性作りは対面で行うことが効果的であるなど、リアルとオンラインの使い分けが重要であることを学んだ。

運営項目別のICTツール

運営項目	ツール
組織内 コミュニケーション	LINE, Messenger, Slack, ChatWork
情報発信・認知向上 ・集客	Facebook, X(ETwitter), Instagram, TikTok, YouTube
ファイル共有	Googleドライブ, Gドキュメント, Gスプレッドシート, Gサイト, Gフォーム
オンライン会議	Zoom, Google Meet, Microsoft Teams

▼メタバース活用事例



◆受講生の皆様の感想◆

- ・ 年配の方にはオンラインツールを使える講座をしてあげなければいけない。若い世代とのつながりをつくるには有効ですね。
- ・ アフターコロナはリアルとオンラインのハイブリッドになると聞き、使えるツールは利用していこうと思いました。自団体は年齢層が高く苦手意識がとても高いので、楽しいと思えるところから始めていきたいと思いました。
- ・ 個人的にはメタバースの活用などは遠い事、自分には関係ないと感じていましたが、お話を聞いていろいろ挑戦してみたいと思いました。
- ・ ICTを活用していくうえで、自分が継続して行えるような好きな分野を根気強く行っていく事と、あくまで現実の交流を主に活性化させるための補助ツールとして使用していく事が大事なのかなと本講座を聞いて感じました。

第2回 クラウドファンディングで共感されやすい企画の立て方 ～お金と共感を生み出す活用法～

2023年10月29日(土) 10:00～12:00 Zoom開催 受講者22名(見逃し視聴含む申込み99人)



講師：阿部剛（あべつよし）さん

NPO法人まつどNPO協議会／理事 まつど市民活動サポートセンター／センター長
高校3年の時、父親の事故により生活が180度変わる経験をしたことから、生きづらさを抱えて生きる人たちに関心を持ち、学生時代から子どもや若者が社会で自立できる社会づくりの活動に携わる。現在は千葉県松戸市で官設民営の中間支援施設でセンター長や高齢者の暮らしを地域で支える生活支援コーディネーターの役割を担っている他、自身が代表を務める団体にて民間学童を運営するなど、ローカルな現場と中間支援の立場を往復しながら活動中。職能として、「多様な主体による協働」「非営利組織における組織づくり・ボランティアコーディネート」「活動を魅力的に発信するデザインコンサルティング」などをテーマとした研修講師を多数行っている。

【講座のねらい】

- ・ 市民活動の資金調達手段のひとつであるクラウドファンディングの概要を知る。
- ・ クラウドファンディングの企画を立て方と支援を得るためのコツを知る。
- ・ クラウドファンディングの活用事例を知り、自団体での活用をイメージする。

【講座概要】

- ・ クラウドファンディングとは何か？購入型・寄付型／All or NothingとAll inの違い
- ・ 申請から資金獲得までの流れ
- ・ 実践事例から成功の秘訣を学ぶ

クラウドファンディングは気軽な資金調達手段と思われがちだが、実際には綿密な計画と多くの手間をかけなければ成功できないということを学ぶ講座となった。クラウドファンディングに挑戦することは、団体の協力者が増え、団体の広報活動も兼ねられることから、資金獲得以外の付加価値も生まれる。数々のプロジェクトを企画してきた講師ならではの実践ストーリーは受講者の関心が特に高かった。

3. 実践事例から成功の秘訣を学ぶ

～実践した事例～



「古民家ホームシェア」で“個”育てを実現する場を作りたい！

目標額：120万円
達成額：178万3000円（149%）
支援者数：139人

- ・ WEBサイトへの訪問者総数：6,914人（購入率2%）
- ・ 実施期間：2016年9月21日～11月8日（49日間）

◆受講生の皆様の感想◆

- ・ ホームページやインスタなど日々の活動の重要性と、人と丁寧に向き合い関係を築いていくことがどれだけ素晴らしいことなのかを再認識しました。
- ・ 正直なところ、楽しんで寄付金を募れる方法かと思っていたので、そうではないことや、むしろ地道な草の根活動が大事であることがわかり驚いた。
- ・ 成功するには事前準備が必要なことや秘訣を学べて理解が深まりました。スタートダッシュで20%を獲得するために事前の営業努力が必要など、自分が実施する際に必要な情報を知れてよかった。
- ・ あらかじめ支援依頼者リストを作成するためには、普段から自分の想いや団体の目的などを共有する必要があり、ただ資金調達するだけでなく、その前後の準備やお礼までしっかり考えて実行することが大切だと分かりました。

第3回 助成金応募要項の読み解き方と 応募申請書の書き方のポイント

2023年11月25日(土) 10:00~12:00 Zoom開催 受講者22名(見逃し視聴含む申込み100人)



講師：山田泰久さん

公益財団法人日本非営利組織評価センター業務執行理事

1996年日本財団に入会。2009年から公益コミュニティサイト「CANPAN」の担当になり、NPO×情報発信、助成金、IT活用、寄付をテーマに様々なNPO支援の活動に取り組む。2016年4月、日本非営利組織評価センター（JCNE）の設立とともに、業務執行理事に就任し、非営利組織の組織評価・認証制度の普及に取り組んでいる。

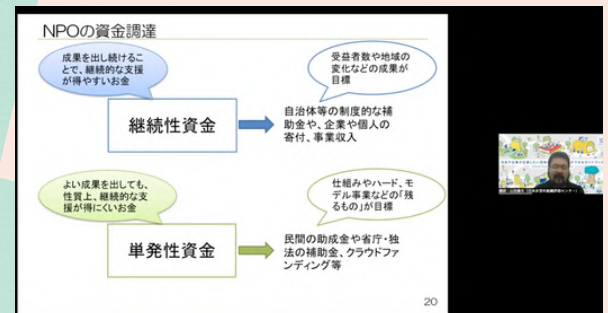
【講座のねらい】

- 助成金や補助金の申請についての理解が以前より深まる。
- 団体の発展・成長に助成金をどのように活用できるかをイメージできるようになる。

【講座概要】

- NPO/市民活動の資金源を知る（会費、寄付、事業収入、補助金・助成金）
- 知っているようで知らない助成金の基礎を知る
- 募集要項の要素・構成を理解する
- 助成金の出し手の意図を意識した申請書の書き方のポイントを知る

助成金を活用する上での基本的な考え方から、応募要項から助成先のニーズを読み解くコツまで網羅的に学ぶ講座となった。どのような助成金があるかを調べることや、自団体にマッチした助成金応募期間をまとめた「助成金カレンダー」を作成することで、事業計画にあわせて申請先を選定することができる。助成金申請は、団体の事業継続性や未来のありたい姿を考える機会にもなることから、団体のステップアップのために活用することを薦められた。



◆受講生の皆様の感想◆

- 日頃からの情報発信（価値化）が大切、無理に自分たちの活動と合わない申請をしないことも大切な視点だと思いました。
- 助成金をどう使いきるかではなく、使った後リターンを生み続ける内容を申請に盛り込むことが重要ということが印象的でした。
- 助成金を受けるのは団体でなく、市民であり、団体は代理店であるというのは助成金の本質を端的に表しているなど、とても納得しました。
- 助成金の募集要項を読んだり、助成金カレンダーを作成したり、できそうなことから始めていきたいと思います。

第4回 自信がもてる企画の立て方

2023年12月9日(土) 10:00~12:00 Zoom開催 受講者17名(見逃し視聴含む申込み81人)



講師：谷津考啓（やつたかひろ）さん
株式会社IRODORI 代表取締役

宮城県仙台市出身。学生時代はハンドボール、アイスホッケーの二つの競技で同時に全国大会に出場していたスポーツマン。国や自治体の政策プロジェクトを多数手掛けるとともに、企業のデジタル関連領域を中心とした戦略構築や事業展開、研修講師などを務める。地域で暮らす住民と行政が対話の場を通じて政策策定を行うカードゲームLocal Dialogueの開発者としても活動しており、総合計画、スマートシティ構想、DX推進政策の策定支援などを手掛ける。2022年に株式会社IRODORIを創業し現在に至る。島根県、茨城県鉾田市、群馬県嬭恋村の官民連携コーディネーター。

【講座のねらい】

- 企画の立て方の基本を理解する。
- アイデアを実行する意欲がわく。

【講座概要】

- 自分が持っている材料から企画を作成する
- たった1人の課題をイメージする
- PDCAではなくIDCA~P「プラン」ではなく「アイデア」

不確実で将来の予測ができないVUCA時代に適応するための「エフェクチュエーション」という実行理論について、講師の実例を用いながら学ぶ講座となった。「自分が持っている能力・資源」や「人のつながり」から企画を考えていくことで、多くの人の力を生かしながら地域に活動を広げていくことができる。駅前でフリーコーヒーを行う「IDOBATA STAND」の事例紹介では、スモールステップから企画を広げていく大切さを受講者に強く意識づけた。



◆受講生の皆様の感想◆

- フリーコーヒーだけで様々な人と繋がって課題まで解決できたというストーリーが印象に残りました。また、同じような考えの人を見つけがちですが、対流、異なる考えや属性の方達との交流も大切だなと感じました。
- エフェクチュエーションという概念を初めて知って、これまで自分がモヤモヤしていたことがすっきりしました。学んだことを早速実践していきたいと思いました。
- 対流が無いからマンネリ化するというのを改めて意識していこうと思います。
- つながる→出番をつくる→事業をつくる→仕組みをかえるの順番って気軽に自分でもできる気がしてきました。
- フリーコーヒーなら今日からでもできそう！悩まずに人に話を聞くことから始めたら成功しか見えないです。

第5回 企画を効果的に実行するための戦略マップづくり

2024年1月28日(日) 10:00~12:00 Zoom開催 受講者24名(見逃し視聴含む申込み96人)



講師：森 浩気（もり こうき）氏 / 千葉商科大学商経学部准教授

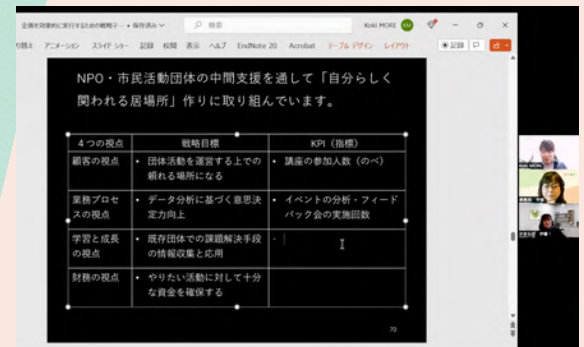
2018年 慶應義塾大学大学院商学研究科後期博士 課程単位取得退学。専門の管理会計学を基盤に、様々な組織やプロダクトをビジネス視点から捉える教育活動を行う。過去の講座のテーマとして、CUC市民活動サポートプログラム(千葉商科大学市民講座)での「非営利組織マネジメント」、慶應義塾大学大学院メディアデザイン研究科での「プロダクト/サービスコンセプトの実現方法」、企業研修での「事業価値評価」など。執筆実績として、『日本の管理会計の変容』(共著・2022年、中央経済社)、『花王の経理パーソンになる』(共著 2020年、中央経済社)など。最新の研究テーマは「管理会計研究における神経科学の応用可能性」。

【講座のねらい】

- NPO団体にも行かせる予算管理の基礎を学ぶ。
- プロジェクトの立ち上げから管理、終結まで一連の流れを学ぶ。
- 戦略マップを作成することで中長期的な視点を持ち、団体の継続的運営について考えられるようになる。

【講座の概要】

- NPO法人会計の基礎
- 管理会計とは何か
- 中期経営計画と予算管理
- KPIと戦略マップ
- プロジェクト・マネジメント



特定のNPO団体を題材に戦略マップ作成のワークを講座内で行った。

1. 4つの視点をを用いての「小さい戦略目標」設定
2. 戦略目標のマップ化
3. 各戦略目標に関するKPIの設定

ワークを通してプロジェクトをより効果的に進める方法を体験。

さらに、戦略が計画倒れにならないためのプロジェクトマネジメントを学ぶことで、受講者が活動に取り入れやすい内容となっていた。

◆受講生の皆様の感想◆

- 企業の事例や置き換えのお話がとてもわかりやすかったです。ワークをやったことで、戦略の立て方、指標の立て方のイメージを持つことができました。
- 来年度の目標を立てる上でとても大切な内容でした。戦略マップ進めてきたいと思います。
- 今まさに「エース」が複数の業務を負担してる状態。戦略マップを作成することでメンバーにも協力してもらえるような体制を整えていきたいです
- 戦略では自分たちの思いや成長に着目しがちでしたが、4つの視点が必要であることが腑に落ち、今後役に立てたいと思いました。



主催:千葉県
企画・運営:一般社団法人鎌ヶ谷マネジメントラボ

Email: kamalabo.info@gmail.com
URL: <https://kamalabo.wordpress.com/>